



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ
2019～2020 年度 高山中央 RC 会長テーマ
～「躍動！」～Move up



◆会長 坂之上 健一 ◆幹事 堀口 裕之 ◆会報委員長 和田 良博 ◆会報担当 内田 茂

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 1239 回	58 名	57 名	51 名	—	89.47%
前々回 1237 回	56 名	55 名	44 名	2 名	83.64%

- 点 鐘
- ロータリーソング
- ビジターゲストの紹介
濃飛グループガバナー補佐 清水 幸平様
- 会長の時間 会長 坂之上 健一



皆さんこんにちは。本日も例会は3密を避けた形での例会となります。

いよいよ本日を含めあと2回で今期は終了となります。

長い休会があったため事業がいくつか出来なかったこともあり残念ではありますが、まずは例会を今期中に再開できたことはとても良かったと思います。

そして、この「新型コロナウイルス感染」問題で自分自身会社について考える事が出来ました。それは弊社商品販売の在り方についてです。創業以来30年間弊社は食品製造メーカーという事で商品の販売を100%問屋に委ねている事の恐ろしさを今回の事で痛感しました。問屋が動かない以上弊社は何もすることが出来ずイコール仕事がない。店舗の場合は自分たちで考え動くことが出来ますが、メーカーの場合問屋との契約もあり他へ商品を持っていく事も出来ない。この図式を変えていく事をしないとイケない事が今回の「新型コロナウイルス感染」で学んだ大きな事でした。

今まで何も考えなかった当たり前の事が、今回の件で当たり前ではない事に気づき早速、スタッフと新たな販売方法についての会議を繰り返し、別のチャンネルへの販売もしたほうが良いとの結論に達し現在動いている最中です。

今回の「新型コロナウイルス感染」騒動で新たに事業について真剣に考える事が出来た事はとても良かったと思います。

私を含め、現在事業継承を考えている会員の方も見えると思いますが、今一度自分の代で事業の在り方など考えてみてはいかがでしょうか。これからは当たり前が当たり前でなくなる時代へと向かっていくと思います。自分の責任としてこの時期をしっかりと乗り越え次世代へとバトンタッチをしたいものです。

●幹事報告 幹事 堀口 裕之

◎国際ロータリー第2630地区

ガバナー事務所より

・5月会員増強報告

◎国際ロータリー第2630地区ガバナーエレクト事務所より

・2020-21年度主要事業アンケート

○ロータリー米山記念奨学会

・ハイライトよねやま243

○各務ヶ原中央ロータリークラブより

・クラブ解散のお知らせ(R2年6月30日)

<本日のゲスト>

●濃飛グループ最終訪問

ガバナー補佐 清水幸平



皆さんこんにちは。ガバナー補佐最終訪問にお伺いしました。新型コロナウイルスの影響で、地区事業も中止となり、各クラブの例会も再開の見通しが立たない中、ガバナー補佐訪問も中止とさせて頂きました。しかしながら、緊急事態宣言が解除され、6月からは各クラブにおいて例会が再開されましたので、私もガバナー補佐としての最後のご挨拶

をさせて頂きたく訪問させて頂きました。

ガバナー補佐として、4回の訪問をいたしました。マローニーRI会長の経歴や2019-20年度RIテーマである「ロータリーは世界をつなぐ」について、また辻ガバナーのテーマ「総天然色」について話をさせて頂きました。ガバナー公式訪問例会では、会員の皆様にガバナーから親しくスピーチをしていただくことができました。

ガバナー補佐としての大きな任務であるIMは、1部は寒河江RCの鈴木一作PGの講演を拝聴し、2部はグループ内の会員の親睦の場としました。グループ内の会員の皆様のご協力のもとより、高山中央RCの山本実行委員長、坂之上会長をはじめ高山中央RCの皆様の絶大なるご協力により、盛会のうちに実施させて頂きましたこと、心より感謝申し上げます。

濃飛グループの大半の事業が年度の前半に計画されていたのが幸いして、コロナの影響が少なく済みしました。また、各クラブにおかれましても重点事業はおおむね実施できたという報告を受けており、安堵しています。

しかしながらコロナの状況は安心できません。ロータリーの活動も依然として制限されています。このような中、われわれはどうしたらいいのでしょうか。私に言えることは一つです。今年度RIのテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」を再確認してみても如何でしょうか。人間の往来は不自由でも近隣で、国内で、海外の仲間とも、交流は可能です。ロータリーの目的である、奉仕の理念の奨励と育成に努めましょう。我々はロータリアンであり、我々がロータリーです。

最後になりましたが、高山中央RCの益々の発展を願い、皆様方のご健勝をお祈りいたします。今年度一年の心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

<本日のプログラム>

- ミャンマー視察旅行報告
(グローバル・グラント実現を目指して)
創立30周年実行委員会
委員長 中田 専太郎



RIのメニューには、「グローバル補助金」という制度が準備されています。

これは、海外の地域において、①基本的教育と識字率向上、②疾病予防と治療、③経済と地域社会の発展、④母子の健康、⑤平和と紛争の予防/紛争解決、

⑥水と衛生、についての支援事業に対して補助金が支給されるものですが、当RCでもなんとかこのメニューを活用して、海外支援事業が出来ないものかと動き始めました。

そのためには、支援対象国や地域とまずは具体的に結び付き、そこから次第に支援事業に進展出来ないものかと、我々の例会にも幾度か来ていただき、その活動についての話をお聞きし

たことのある「ビルメロの会」の廣瀬代表に相談をしてみたところ、「それではまずは一度ミャンマーへいっしょに行ってみませんか。そしてあちこちを視察されてみて、そこから考えを進めてみてはいかかでしょうか？」

そんなわけで、今例会では、プロジェクターに投影される画像を中心に、2018年11月と2019年11月の2回、訪問させていただいたミャンマーの視察報告をさせて頂きました。

第1回目の視察旅行参加者は、劔田パストガバナー、清水さん、村瀬さん、岩本幹事(当時)、それに私の5人。他にもビルメロの会代表の廣瀬氏やビルメロの会会員の皆様が同行してくださいました。



視察先を探して東奔西走する中、視察先としては、タニベ村小中学校に白羽の矢が・・・



この事業を展開する上では、現地のRCと連携することが必須要件となりますので、ヤンゴン中央RCの夜例会にもメンバー5名と廣瀬氏で出席させて頂きました。

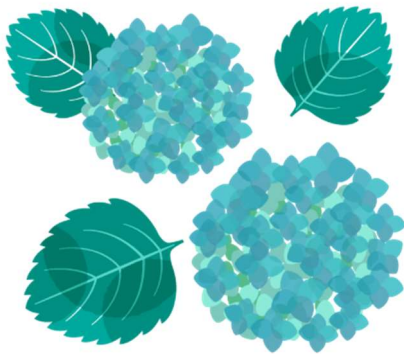
第2回目の視察旅行は、メンバーとしては、清水ガバナー補

佐と私の2名、それに廣瀬代表他、ビルメロの会の関係者が同行してくださいました。

今回は先に白羽の矢を立てたタニベ小中学校をまずは再訪したのですが、彼等が熱望している新校舎建設予定地は、ジャングルの木々が伐採され、更地に近い状態になってきました。

(勿論そうするように言ったわけでも、支援が決まっているわけでもないのですが・・・)

今回も、ヤンゴン中央RCのケビン会長や他のメンバーの皆さんと会談を持つことが出来、先に我々が知り得た情報も含めて、グローバル補助金で学校を建造することの難しさについて話し合い、それを実現するためには、責任の所在なども含めて別のオプションを検討していく必要があるのではないかとということを経験することが出来ました。でも実現を目指して前向きにお互いに考えて行こうということで固い握手を別れ際に交わしました。



<ニコニコ BOX>

一年間AGとして務めさせて頂きました。皆様方のご支援に心から感謝申し上げます。

濃飛グループガバナー 補佐 清水 幸平

先日はステキな誕生日プレゼントをありがとうございました。ご配慮で若返りもできてとても嬉しかったです。

奈木 尚美

結婚祝いのお花をありがとうございました。誕生日祝いの品をありがとうございました。孫からの父の日のプレゼント etc 全てに感謝してありがとうございました。

田中 雅昭

今回のコロナによる休会の中に私の誕生日祝い、嫁の誕生日祝いを頂きありがとうございました。愛のある夜を過ごさせて頂きました。本日は「秋の高山祭中止の件」の打ち合わせの為早退させて頂きます。

久々野 國良

昨日は最高の天気の中、第195回はぐるま会を無事終わることが出来ました。多数のご参加ありがとうございました。優勝しちゃったのでニコニコへ。

植木 眞吾

昨日のはぐるま会に参加された皆様ご苦勞様でした。会長 島さん、幹事 植木さんお世話になりました。成績はともかく梅雨の合間、楽しんで来ました。身体のあちこちが痛いです。

中田 一男

昨日のはぐるま会では色々頂きましたのでニコニコへ。

三枝 祥一

早退させて頂きます。

下田 徳彦

